

滋賀文教短期大学 卒業生に関する就業状況調査（2023年度卒業生 就業先対象）

令和7(2025)年3月
滋賀文教短期大学

目的： ・職業安定法に基づいて「就職後6ヶ月以内の離職状況」を調査するため
・今後の本学の進路支援・教育内容の質の向上のため

対象： 令和5(2023)年度 本学卒業生の就業先事業所

方法： 卒業生の就業先へ配属先の事業所ごとに郵送し、返信用封筒にて回収

時期： 令和4年(2022)年 9月

件数：	発送	返送	返送率
国文学科	12	8	66.7%
子ども学科	39	32	82.1%
計	51	40	78.4%

(返送数は調査年9月30日現在)

質問： ○回答者の方の情報(事業所名、所属、役職、氏名)
○対象の卒業生の在職状況(退職の場合は退職日)

A.本学卒業生について、特に改善が求められる点を3つまで選び、丸をつけてください。

- 1.論理的思考力（具体的根拠を基に考えたり議論したりする力）
- 2.事務処理能力（文章作成能力、パソコン技能、電卓計算能力）
- 3.基礎学力（短期大学卒業程度の学力、一般常識）
- 4.専門知識・技能（専門分野についての豊富な知識）
- 5.対人能力（議論の意図を理解する力、意見の異なる人とも協力する力）
- 6.課題解決力（自ら課題を発見し、取り組み、解決する力）
- 7.主体性・自立性（すぐに他人を頼らず、自分でやり遂げる力）
- 8.成長意欲（入職後も自己研鑽しようと地道に努力を継続する力）
- 9.リーダーシップ（他人を巻き込んで、物事に取り組む力）
- 10.その他（自由記述）

B.本学卒業生の評価について、それぞれ一つを選び、丸をつけてください。

- (1)仕事に対して、主体的に働きかけ、実行する力
- (2)課題を発見し、自分なりに考えた上で、新しいことを考える力
- (3)他人の話を傾聴した上で自分の意見を伝える力
- (4)職場で適切な議論をする力
- (5)時間や期限を守ったり敬語を使ったりするなどの社会のマナー
- (6)文章作成能力、パソコン技能等の事務処理能力
- (7)短期大学卒業レベルとして社会で活躍する力
- (8)社内や部署内全体の状況を把握した上で働く力
- (9)就職後も自ら学び続ける力
- (10)ピアノ演奏や弾き歌いの音楽の技能
- (11)子どもや保護者との関わり等における対応力
- (12)子どもの安全や健康について、全体の様子を把握して配慮する力
- (13)教育者・保育者としての使命感・倫理観

評価： 1.秀 2.優 3.良 4.可 5.不可

※評価目安：満点を100点としたとき、秀100～81点、優80～61点、良60～41点、可40～21点、不可20～0点

C.その他、お気づきの点がありましたら、ご記入をお願いいたします。

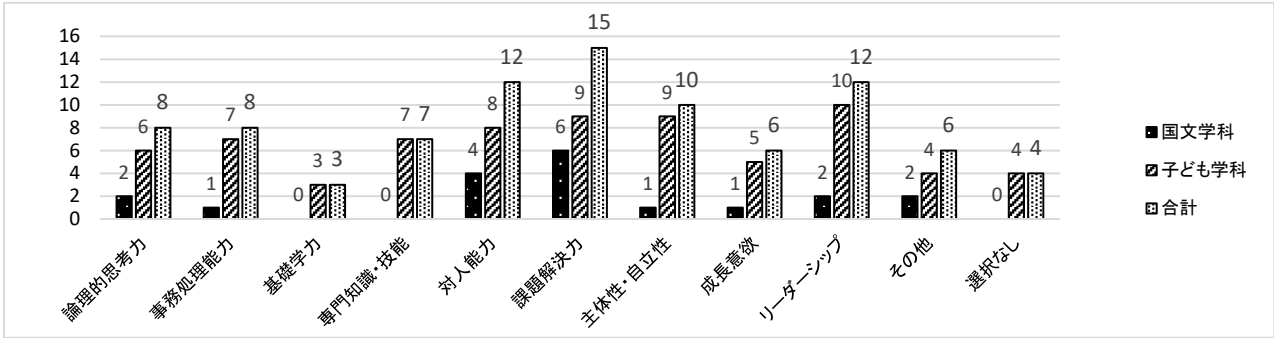
実施後： ・本学ホームページ上で卒業生に関する就業状況調査の集計結果(A・B)を公表
・本学ホームページ上で正規のうち6ヶ月以内の離職状況を公表
・集計結果をふまえ、学内の進路支援および教育内容の改善を検討する

滋賀文教短期大学 就職先アンケート 集計結果（2023年度卒業生 就業先対象対象）

令和6(2024)年9月30日現在

A.本学卒業生について、特に改善が求められる点を3つまで選び、丸をつけてください。

No.	評価項目	評価項目詳細	国文学科	子ども学科	合計
1	論理的思考力	具体的根拠を基に考えたり議論したりする力	2	6	8
2	事務処理能力	文章作成能力、パソコン技能、電卓計算能力	1	7	8
3	基礎学力	短期大学卒業程度の学力、一般常識	0	3	3
4	専門知識・技能	専門分野についての豊富な知識	0	7	7
5	対人能力	議論の意図を理解する力、意見の異なる人とも協力する力	4	8	12
6	課題解決力	自ら課題を発見し、取り組み、解決する力	6	9	15
7	主体性・自立性	すぐに他人を頼らず、自分でやり遂げる力	1	9	10
8	成長意欲	入職後も自己研鑽しようと地道に努力を継続する力	1	5	6
9	リーダーシップ	他人を巻き込んで、物事に取り組む力	2	10	12
10	その他	自由記述	2	4	6
*	選択なし	改善点がない、評価を控えるなど、選択がなかったケース	0	4	4



・何も記載されていない報告は国文学科1名、子ども学科9名であった
・国文学科は「リーダーシップ」と「論理的思考力」「対人能力」「課題解決力」、子ども学科は「課題解決力」と「対人能力」「成長意欲」が多く選択された。

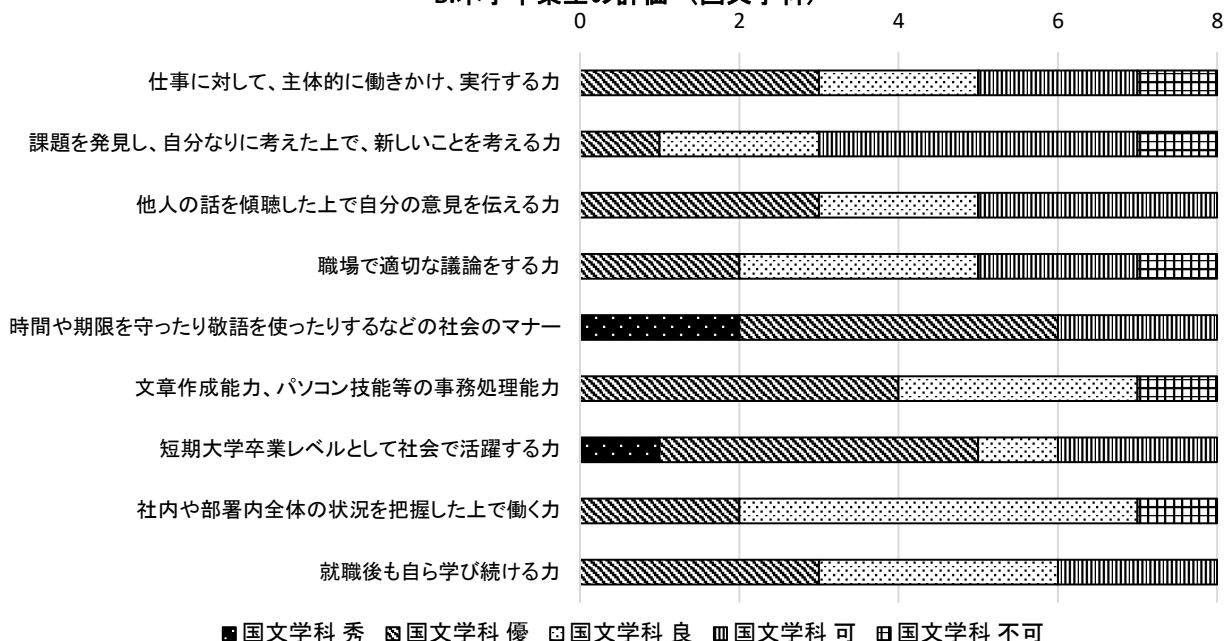
B.本学卒業生の評価について、それぞれ一つを選び、丸をつけてください。

No.	評価項目	国文学科					子ども学科					合計 回答数
		秀	優	良	可	不可	秀	優	良	可	不可	
1	仕事に対して、主体的に働きかけ、実行する力	0	3	2	2	1	0	7	13	6	3	37
2	課題を発見し、自分なりに考えた上で、新しいことを考える力	0	1	2	4	1	0	3	12	9	3	35
3	他人の話を傾聴した上で自分の意見を伝える力	0	3	2	3	0	0	7	14	7	2	38
4	職場で適切な議論をする力	0	2	3	2	1	0	4	13	7	5	37
5	時間や期限を守ったり敬語を使ったりするなどの社会のマナー	2	4	0	2	0	2	14	7	4	3	38
6	文章作成能力、パソコン技能等の事務処理能力	0	4	3	0	1	0	6	12	9	2	37
7	短期大学卒業レベルとして社会で活躍する力	1	4	1	2	0	1	8	12	6	1	36
8	社内や部署内全体の状況を把握した上で働く力	0	2	5	0	1	1	8	9	8	3	37
9	就職後も自ら学び続ける力	0	3	3	2	0	2	8	10	5	3	36
10	ピアノ演奏や弾き歌いの音楽の技能						0	1	7	7	2	17
11	子どもや保護者との関わり等における対応力						1	7	8	9	2	27
12	子どもの安全や健康について、全体の様子を把握して配慮する力						0	6	7	10	4	27
13	教育者・保育者としての使命感・倫理観						1	6	12	5	3	27
合計		3	26	21	17	5	8	85	136	92	36	

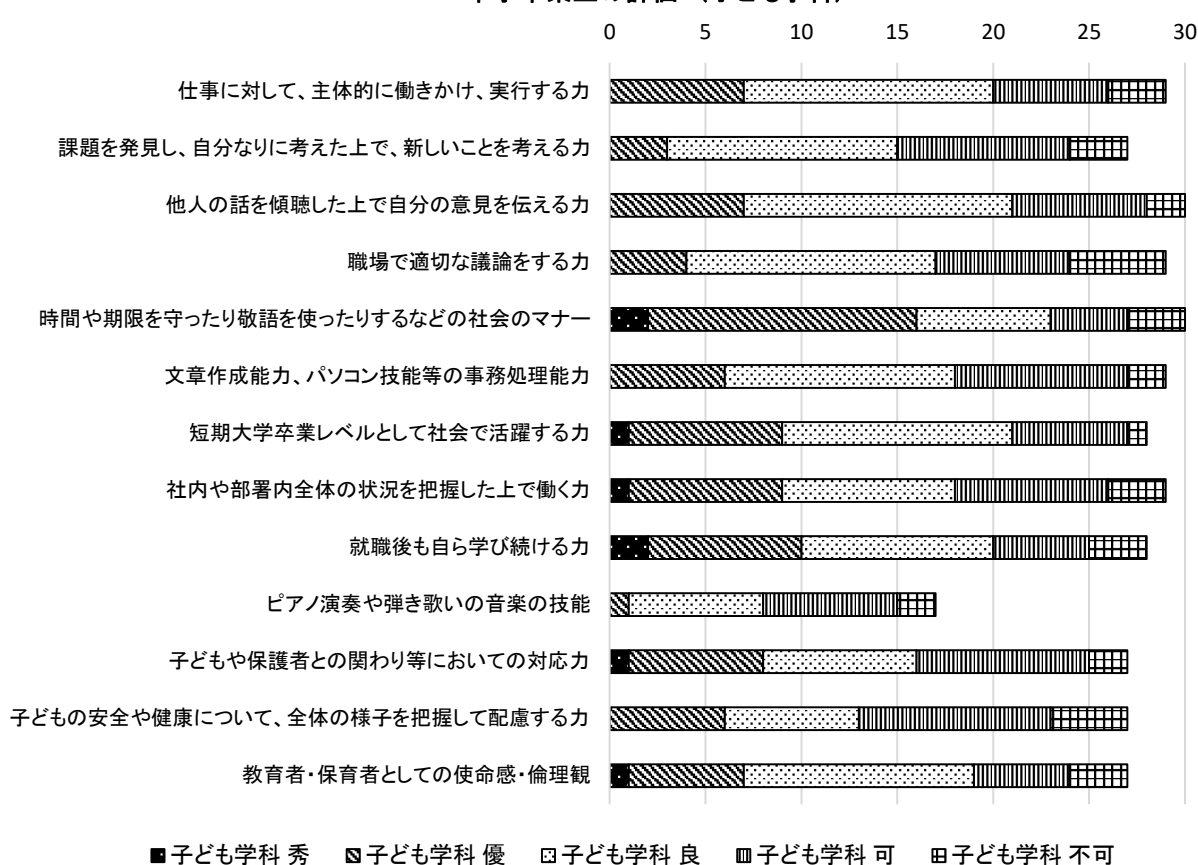
*国文はNo.10-13の回答不要。子ども学科はNo10は13件のみ回答。No11-13も何件か無回答があり合計が異なる。

(次ページに続く)

B.本学卒業生の評価（国文学科）



B.本学卒業生の評価（子ども学科）



最も高評価だったのは両学科ともに「時間や期限を守ったり敬語を使ったりするなどの社会のマナー」だった。次いで、国文学科は「短期大学卒業レベルとして社会で活躍する力」が高く、子ども学科は「短期大学卒業レベルとして社会で活躍する力」「就職後も自ら学び続ける力」が高かった。

一方、最も低い評価だったのは国文学科は「課題を発見し、自分なりに考えた上で、新しいことを考える力」、子ども学科は「課題を発見し、自分なりに考えた上で、新しいことを考える力」「職場で適切な議論をする力」であった。

なお、No.10-13は小学校や保育所等を対象とした項目のため、子ども学科の小学校・保育所等に就職した者の評価である。音楽の技能に関する項目は、不明な場合は回答不要としたため回答が少なかった。

以上